

リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

2020年3月期 決算補足資料



2020年5月21日

1. 2020年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)
2. 決算サマリー (P.3)	13. 『第6次中期経営計画(2019年～2020年度)』全体的な基本方針 (P.19)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	14. 『第6次中期経営計画(2019年～2020年度)』事業別の基本方針 (P.20)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	15. リスクモンスターとSDGs (P.21)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	16. 自己株式の取得・消却 (P.22)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	17. 株主のための施策 ① (P.23)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	18. 株主のための施策 ② (P.24)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連事業 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.25)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	【補足】『格付ロジック改定』のご紹介 (P.26)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	【補足】『ビジネス実務与信管理学習ツール』のご紹介 (P.27)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	【補足】『リスクモンスターRM格付APIサービス』のご紹介 (P.28)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	【補足】『リスクモンスターお見舞金』『リスクモンスター見舞金共済』 サービスのご紹介 (P.29)
8. 2021年3月期 業績予想 (P.14)	【補足】事務所移転のお知らせ (P.30)
9. 新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業別の見通し (P.15)	
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	

1Q

2Q

3Q

4Q

リリース

- ▶ 自己株式の取得(4月)
- ▶ 商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ(iOS版)提供開始(4月)
- ▶ テクマトリックス株式会社と共同で人工知能(AI)活用によるRM格付精度向上の実証実験実施を公表(4月)
- ▶ 業務拡大のため大阪支社を移転(5月)
- ▶ 格付ロジック改定(定性項目の評価に人工知能(AI)を導入し、ビッグデータの分析をさらに多面化)(6月)
- ▶ 公開研修講師陣が出演する動画 eラーニング9コース 提供開始(6月)
- ▶ eラーニング『社会人基礎力』シリーズ2コース 提供開始(6月)

- ▶ 株式会社TKCと大学向けWeb学習システム「ビジネス実務与信管理学習ツール」を共同開発(7月)
- ▶ 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施(7月)
- ▶ 債権保証サービス『SecuredMonster』のパフォーマンス向上～低格付企業への積極的な保証、柔軟な割引プランにより保証料を引下げ(8月)
- ▶ 株主優待制度の拡充を決定(8月)
- ▶ 自己株式の消却(9月)
- ▶ クラウド型請求書発行代行サービス『請求の助』機能追加(9月)
- ▶ 公開研修講師陣が出演する動画 eラーニング15コース 提供開始(9月)

- ▶ eラーニング『MBAマネジメント養成講座シリーズ』、『ビジネスエッセンシャルシリーズ』モバイル対応版、『働き方改革シリーズ』ほか提供開始(10月)
- ▶ 「RM格付 APIサービス」提供開始(11月)
- ▶ 自己株式の取得(11月)
- ▶ 与信先モニタリングサービスにおけるA～D格の「お見舞金制度」開始(11月)
- ▶ 「与信管理論(第3版)」出版(12月)
- ▶ 与信先モニタリングサービスにおけるE、F格の「リスクモンスター見舞金共済サービス」提供開始(12月)
- ▶ 格付ロジック改定(ビッグデータを多面的に分析し、さらに格付精度向上)(12月)
- ▶ eラーニング『ビジネス英会話 基礎講座』『知って役立つ! 管理職のためのハラスメント講座』ほか提供開始(12月)

- ▶ 公開研修講師陣が出演する動画 eラーニングシリーズ12コース提供開始(1月)
- ▶ クラウド型グループウェアサービス「J-MOTTO」バージョンアップ(3月)
- ▶ 自己株式の消却(3月)

リスモン調べ

調査結果 発表

- ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶ 「仕事・会社に対する満足度」(5月)
- ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 不動産王ランキング(4月)
- ▶ 仕事・会社に対する満足度(5月)

調査結果 発表

- ▶ 「金持ち企業ランキング」(7月)
- ▶ 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶ 「100年後も生き残ると思う平成生まれの日本企業」(8月)
- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い」(9月)

リスモン調べ 動画

- ▶ お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業(7月)

調査結果 発表

- ▶ 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(10月)
- ▶ 「令和に飛躍が期待される新進気鋭企業ランキング」(11月)
- ▶ 「合コンしたいと思う企業ランキング」(12月)
- ▶ 「企業の取引リスクに対する意識」(12月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 大学1、2年生が就職したい企業・業種ランキング(10月)
- ▶ 令和に飛躍が期待される新進気鋭企業ランキング(11月)
- ▶ 合コンしたいと思う企業ランキング(12月)

調査結果 発表

- ▶ 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」(1月)
- ▶ 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(1月)
- ▶ 「就職したい企業・業種ランキング」(2月)
- ▶ 「離婚したくなる亭主の仕事」(3月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 100年後も生き残ると思う平成生まれの日本企業(1月)

業界レポート

- ▶ 非鉄金属製造業(2019年改訂版)(4月)
- ▶ 繊維・衣服等卸売業(5月)
- ▶ 情報サービス業(6月)

- ▶ 総合工事業(7月)
- ▶ 化学工業(8月)
- ▶ 不動産賃貸・管理業(9月)

- ▶ 道路貨物運送業(10月)
- ▶ 機械器具卸売業(11月)
- ▶ 飲食店(改訂版)(12月)
- ▶ 映像・音声・文字情報制作業(12月)
- ▶ 生産用機械器具製造業(改訂版)(12月)
- ▶ 石油製品・石炭製品製造業(12月)

- ▶ 社会保険・社会福祉・介護事業(1月)
- ▶ 不動産取引業(1月) ▶ 医療業(1月)
- ▶ 飲食料品卸売業(1月) ▶ 水運業(2月)
- ▶ 金属製品製造業(2月) ▶ 鉄鋼業(2月)
- ▶ パルプ・紙・紙加工品製造業(2月)
- ▶ 設備工事業(3月)

	2019年3月期	2020年3月期	増 減	前期比
売上高	2,962,616 千円	3,150,052 千円	187,436 千円	106.3 %
営業利益	459,946 千円	507,088 千円	47,142 千円	110.2 %
経常利益	467,197 千円	547,983 千円	80,786 千円	117.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	280,818 千円	305,885 千円	25,067 千円	108.9 %
1株当たり当期純利益(EPS)	72.62 円	80.84 円	8.22 円	111.3 %
会員数	12,158 ID	13,002 ID	844 ID	106.9 %
自己資本当期純利益率(ROE)	6.4 %	6.8 %	0.4 ポイント	106.3 %

◆ 売上高

主力の与信管理サービス、BPOサービス、その他サービスの教育関連事業及び中国におけるサービス等の売上高が順調に増加したため、前期を上回りました。

◆ 利益

利益率の高いサービスの売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。



3. 業績推移(四半期)

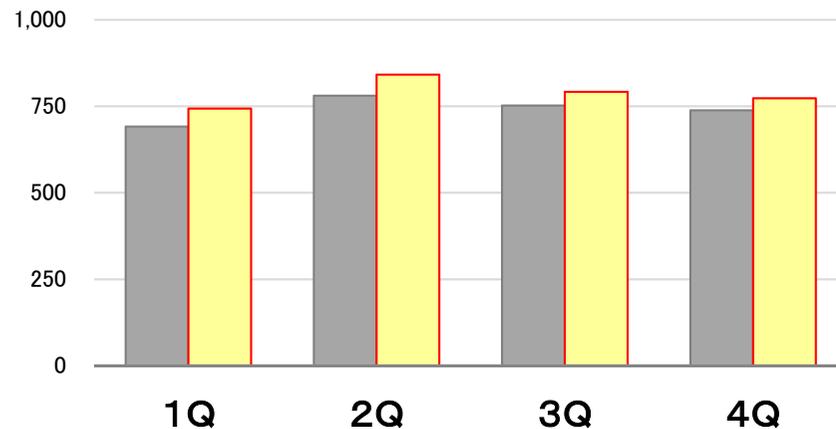


(単位：千円)

2020年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	743,633	841,678	791,624	773,116
営業利益	103,588	188,417	124,976	90,105
2019年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	691,261	780,730	752,193	738,431
営業利益	80,268	169,936	127,761	81,979

売上高

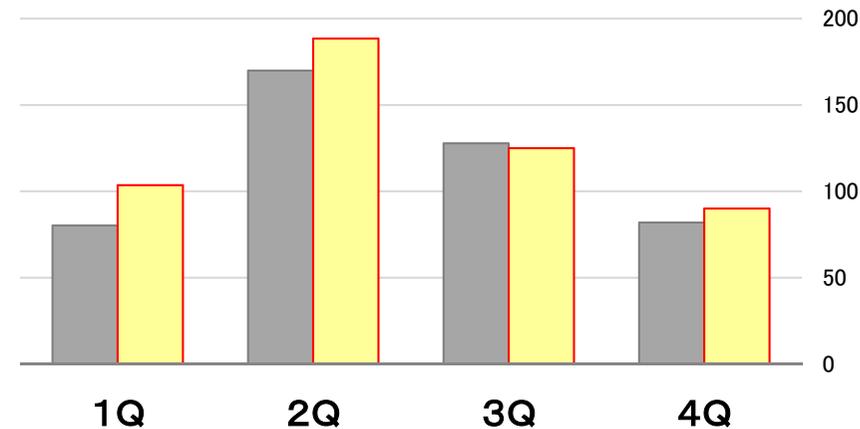
(単位：百万円)



■ 2019年3月期 ■ 2020年3月期

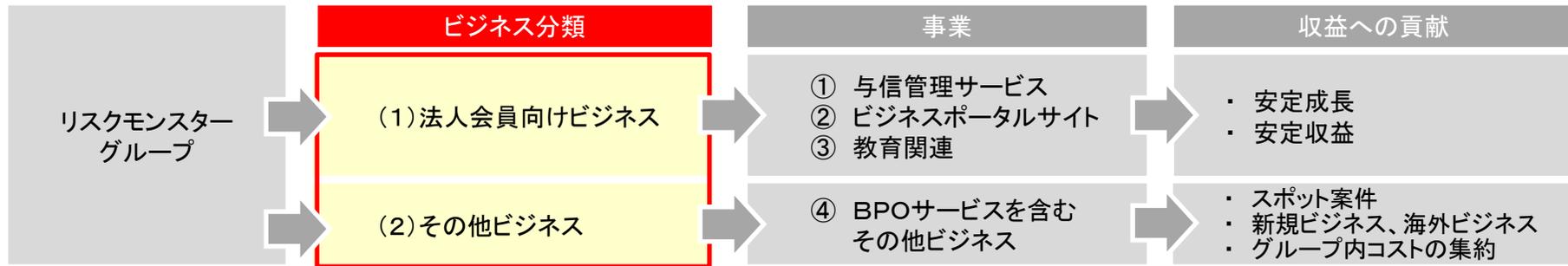
営業利益

(単位：百万円)



■ 2019年3月期 ■ 2020年3月期

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位 : 千円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	2,606,680	2,773,552	166,872	106.4%
(2) その他ビジネス	513,753	559,712	45,958	108.9%
売上高 計	3,120,433	3,333,265	212,831	106.8%
(1) 法人会員向けビジネス	552,053	582,930	30,876	105.6%
(2) その他ビジネス	△19,109	8,109	27,219	—
利益 計	532,944	591,040	58,095	110.9%

(注) 売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

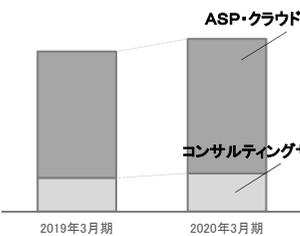
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
①与信管理サービス	1,895,061	2,044,021	148,959	107.9%
②ビジネスポータルサイト	549,800	533,687	△16,112	97.1%
③教育関連	161,818	195,844	34,025	121.0%
法人会員向けビジネス売上高計	2,606,680	2,773,552	166,872	106.4%
①与信管理サービス	349,405	377,401	27,996	108.0%
②ビジネスポータルサイト	163,603	148,255	△15,347	90.6%
③教育関連	39,045	57,272	18,227	146.7%
法人会員向けビジネス利益計	552,053	582,930	30,876	105.6%
会員数 (ID)	11,579	12,369	790	106.8%

(単位 : 千円)

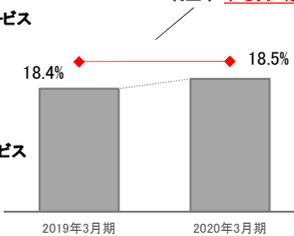
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	1,497,667	1,592,040	94,372	106.3%
コンサルティングサービス	397,394	451,980	54,586	113.7%
売上高 計	1,895,061	2,044,021	148,959	107.9%
利益	349,405	377,401	27,996	108.0%
利益率	18.4%	18.5%	0.1 ポイント	—
会員数 (ID) (注)	6,195	6,527	332	105.4%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

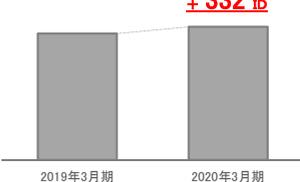
売上高推移



利益推移



会員数推移



◆ 売上高

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、前期を上回りました。コンサルティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注件数と受注単価が増加したこと、また反社・与信管理体制の構築支援等が好調であったことから前期を上回りました。

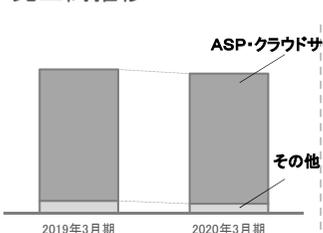
◆ 利益

サービス提供体制強化による人件費が増加したものの、売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

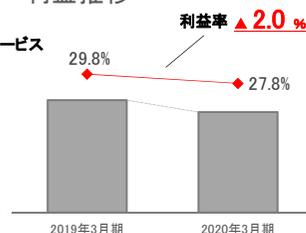
(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	503,636	498,775	△4,860	99.0%
その他	46,164	34,912	△11,252	75.6%
売上高 計	549,800	533,687	△16,112	97.1%
利益	163,603	148,255	△15,347	90.6%
利益率	29.8%	27.8%	△2.0 ポイント	—
会員数 (ID)	3,135	3,228	93	103.0%
ユーザー数	139,113	142,995	3,882	102.8%

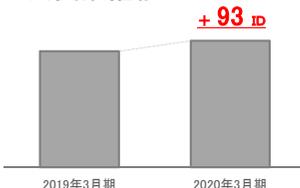
売上高推移



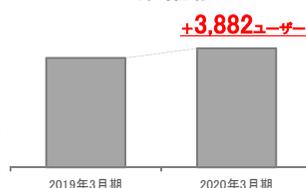
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

会員数及びユーザー数が増加し定額の利用料が積み上がったものの、ディスク容量の利用が減少したため、前期を下回りました。

◆ 利益

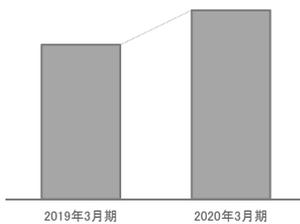
利益率の高いディスク容量の利用が減少したことや、サービスシステムのパブリッククラウドへの移行に伴う費用を計上したこと等により、前期を下回りました。

(単位：千円)

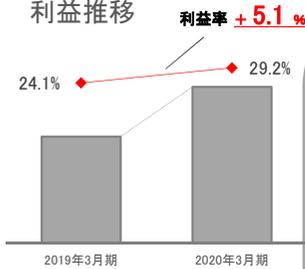
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高 計	161,818	195,844	34,025	121.0%
利益	39,045	57,272	18,227	146.7%
利益率	24.1%	29.2%	5.1ポイント	—
会員数(ID) ^(注)	2,249	2,614	365	116.2%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を利用できる会員の合計

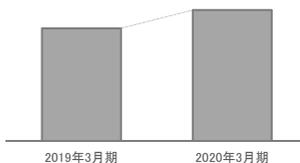
売上高推移



利益推移



会員数推移



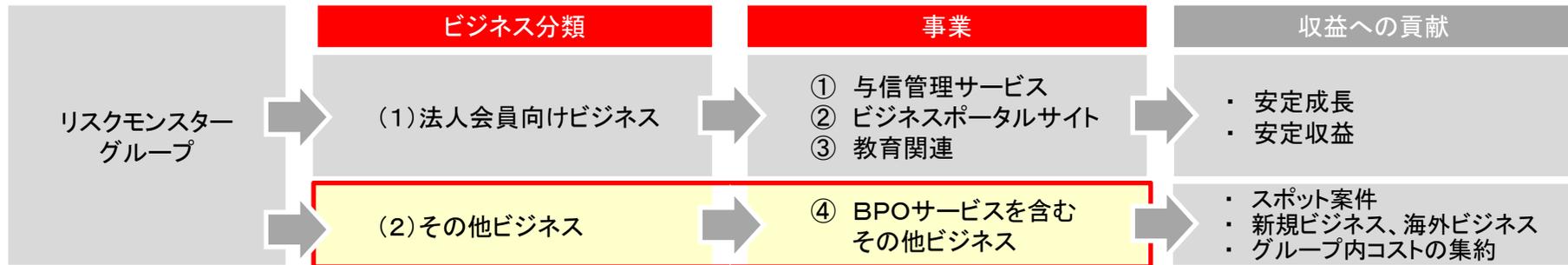
◆ 売上高

定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が2,614会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、その他の売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

◆ 利益

売上高増加が寄与し、前期を大きく上回りました。

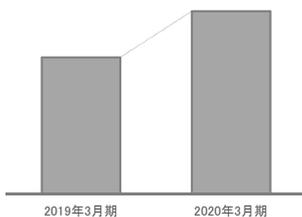
リスクモンスターグループ ビジネスモデル



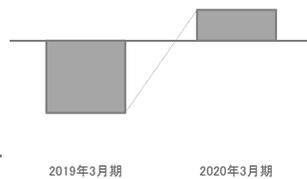
(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	513,753	559,712	45,958	108.9%
その他ビジネス利益計	△19,109	8,109	27,219	—

売上高推移



利益(損失)推移



◆ 売上高

BPOサービスの主力のデジタルデータ化サービスと、当社グループ商材の海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)の信用調査レポートの需要が伸び売上高は堅調に推移しました。

なお、中国での与信管理及びグループウェアサービス等の会員数の合計は633会員となりました。

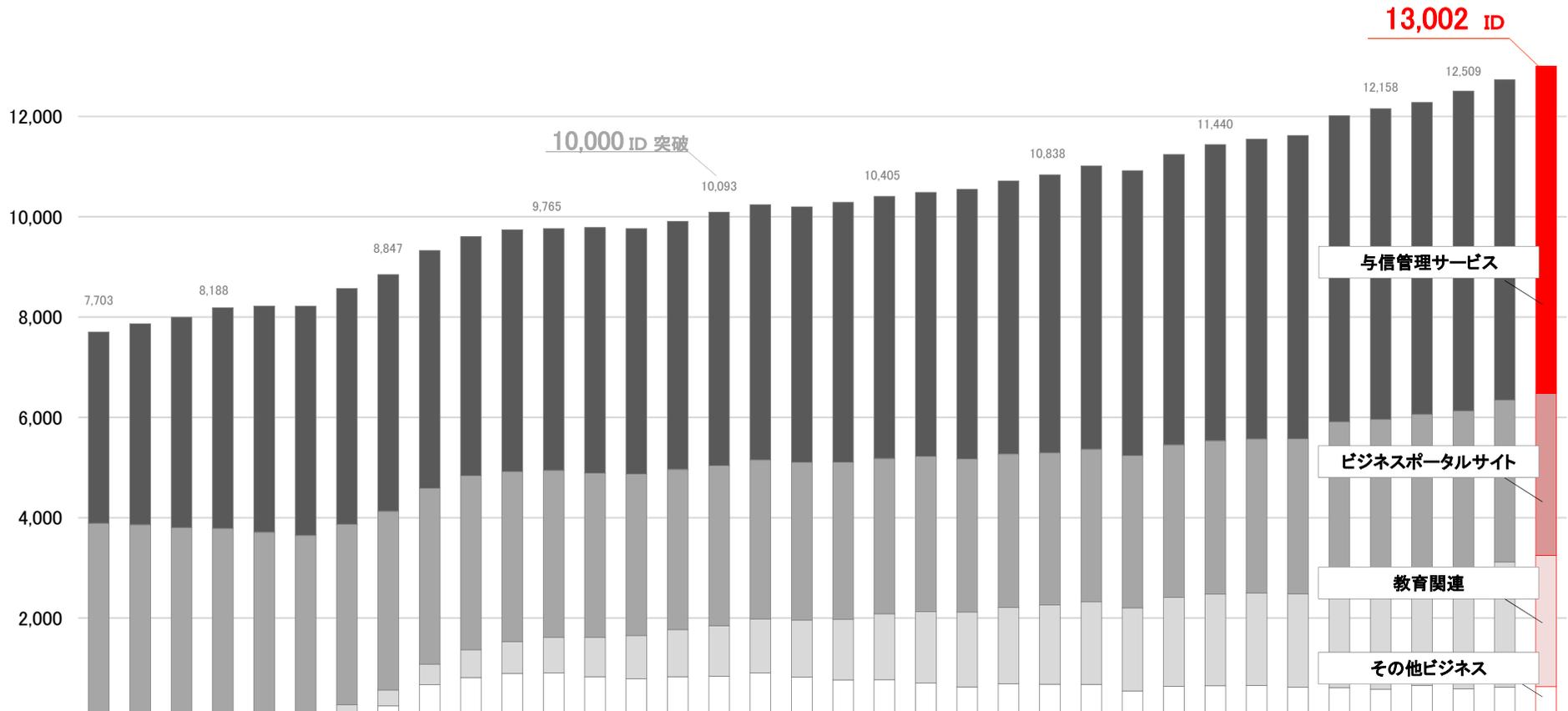
◆ 利益

BPOサービス及び中国におけるサービスの売上高が堅調に増加したため、利益へ転じました。



5. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



	2011年			2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年			2018年			2019年											
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月																				
与信管理サービス	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379	5,446	5,541	5,650	5,683	5,789	5,907	5,979	6,050	6,100	6,195	6,217	6,377	6,385	6,527
ビジネスポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051	3,057	3,039	3,042	3,033	3,041	3,058	3,068	3,088	3,123	3,135	3,184	3,216	3,231	3,228
教育関連	-	-	-	-	-	-	272	315	411	553	633	710	788	866	940	1,008	1,079	1,132	1,207	1,316	1,422	1,493	1,522	1,578	1,647	1,658	1,772	1,825	1,845	1,864	2,179	2,249	2,229	2,327	2,496	2,614
その他ビジネス(注1)	-	-	-	-	-	-	248	670	814	897	905	828	786	828	839	905	824	765	768	702	626	690	680	676	546	639	650	656	620	613	579	651	589	622	633	
会員数計(注2)	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200	10,288	10,405	10,487	10,549	10,715	10,838	11,015	10,920	11,241	11,440	11,548	11,622	12,015	12,158	12,281	12,509	12,734	13,002

(注1) 中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員

(注2) 重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,649,461	2,574,739	△74,722	97.2%
固定資産	2,864,431	2,960,219	95,788	103.3%
資産合計	5,513,893	5,534,958	21,065	100.4%
流動負債	555,769	514,646	△41,123	92.6%
固定負債	416,943	387,947	△28,995	93.0%
負債合計	972,712	902,593	△70,119	92.8%
純資産	4,541,180	4,632,365	91,184	102.0%
負債・純資産合計	5,513,893	5,534,958	21,065	100.4%
自己資本比率	81.0%	82.1%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	1,161.50円	1,226.57円	65.07円	105.6%

自己資本比率は82.1%と高水準を維持しております。



7. 連結キャッシュ・フロー



2020年3月期
決算補足資料

(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
営業活動	738,703	710,944	△27,758	96.2%
投資活動	△255,171	△467,578	△212,407	183.2%
財務活動	△195,150	△372,970	△177,819	191.1%
現金に係る換算差額	△1,184	△2,742	△1,557	231.6%
現金増減額	287,197	△132,346	△419,543	—
現金期末残高	2,099,943	1,967,596	△132,346	93.7%

◆ 営業活動

税金等調整前当期純利益	482,121
減価償却費	334,833
投資有価証券評価損	44,042
未払金の増加額	42,062
法人税等の支払額	△177,136

◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△72,426
無形固定資産の取得による支出	△411,771
投資有価証券の取得による支出	△143,225
投資有価証券の売却による収入	112,918

◆ 財務活動

配当金の支払額	△65,665
自己株式の取得による支出	△246,362
長期借入金の返済による支出	△60,160

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	3,150	3,250	99	103.2%
営業利益	507	525	17	103.5%
経常利益	547	550	2	100.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	305	310	4	101.3%
1株当たり当期純利益(EPS)	80.84円	83.64円	2.8円	103.5%

世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の経済は大きく減速しており、今後の世界経済の先行きは不透明な状況です。日本経済につきましても、インバウンドの減少や営業、外出自粛等の経済活動の制限により大幅な経済の落ち込みが想定されております。当社の業績予想は、こうした状況のなか、第2四半期以降は、新型コロナウイルス感染症に社会全体が順応し、第3、第4四半期は、緩やかに回復していくことを前提にしております。

また、当社の売上の83.2%は法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。

※ なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。新型コロナウイルス感染症に対するリスクを踏まえた事業別の見通しは次頁をご参照ください。

与信管理サービス事業

- ・倒産件数の増加に対する警戒感が高まり、与信管理のニーズも高まると予想されます。
- ・債権の保全を検討する企業が増加すると、より明確でわかりやすい判断指標による取引先モニタリングの需要や、「見舞金共済サービス」等の債権保全サービスが増加するものと見込まれます。
- ・テレワークの普及など、社会情勢の変化に即した、与信管理ルールの見直しや、ワークフローとの連携を提案していきます。
- ・景気の低迷が継続する場合は、大幅な業績悪化に伴うコスト削減により、ポートフォリオサービスの減少や、一時的に退会数が増加することも考えられます。

ビジネスポータルサイト事業

- ・テレワークの普及等により、社内の情報共有ツールとしてのニーズが高まり、入会件数が増加し、登録ユーザー数やディスク容量の増加が期待されます。
- ・感染症拡大の影響を大きく受けている旅行業界等の会員様は、登録ユーザー数縮小の動きも生じております。
- ・小規模企業の会員も多いことから、企業におけるコスト削減の煽りを受け、会員の退会率は増加傾向と予想されます。

BPOサービス事業

- ・イベントやレジャー自粛の影響を受け、これらに係わる案件が大幅に減少しており、足元の売上高は減少が見込まれます。
- ・テレワークの普及等に伴い、紙媒体のデータ化やアウトソーシング需要は高まるものと思われ、積極的に提案してまいります。
- ・グループ連携を強化し、好調な反社チェックサービス等を積極的に展開してまいります。

教育関連事業

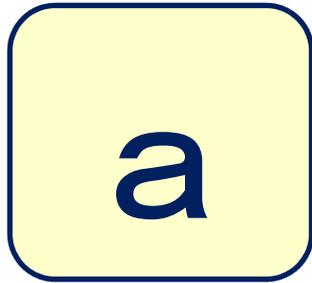
- ・新入社員を対象とした講座を中心にe-ラーニングサービスの申込みが大幅に増加しており、売上高は増加する見込みです。
- ・引き続き需要が見込まれる講座を中心に、コンテンツの充実化やWebセミナーの推進を図ってまいります。
- ・景気の低迷が継続する場合は、大幅な業績悪化に伴うコスト削減により、企業における社員教育への意欲が低下し、退会数が増加する恐れがあります。

海外展開

- ・当社グループ商材の海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息諮詢有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、旧正月から1ヶ月間稼働することが出来ませんでした。5月の連休明けより通常稼働しております。
- ・中国の経済活動が再開し、信用調査レポートの需要も引き続き堅調に推移することが見込まれます。

リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】
2020年3月期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

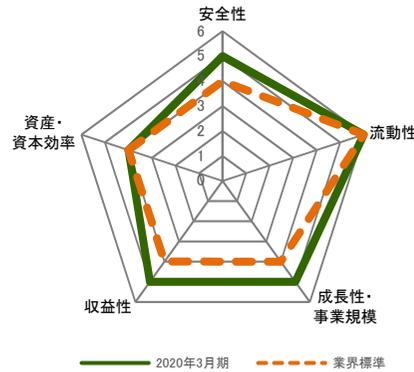
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

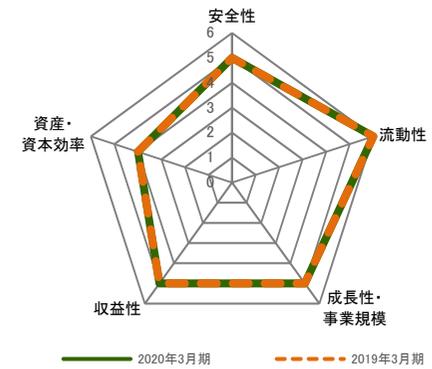
【RM財務格付履歴】

2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期
a	a	a	a
2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
a	a	a	a
2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2020年3月期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期	☆☆☆☆☆
自己資本比率		☆☆☆☆☆
実質自己資本比率		☆☆☆☆☆
借入金利率		☆☆☆☆
借入返済年数		☆☆☆☆☆
収益性	2020年3月期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率		☆☆☆☆☆
経常収支比率		☆☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)		☆☆☆
資産・資本効率	2020年3月期	☆☆☆☆
	2019年3月期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間		☆☆☆☆
棚卸資産回転期間		☆☆☆☆☆
総資産回転率		☆☆

流動性	2020年3月期	☆☆☆☆☆☆
	2019年3月期	☆☆☆☆☆☆
流動比率		☆☆☆☆☆☆
当座比率		☆☆☆☆☆☆
現預金回転期間		☆☆☆☆☆☆
手形割引率		
成長性・事業規模	2020年3月期	☆☆☆☆☆
	2019年3月期	☆☆☆☆☆
売上高増減率		☆☆☆☆
売上高規模		☆☆☆☆
経常利益増減率		☆☆☆☆☆☆

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆★(良い)~★(悪い)にて表示しています。
★が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2020年3月期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、利益剰余金240百万円の積み増しにより、自己資本比率は前年度81.0%から82.1%へと1.1ポイント上昇し、非常に高い安全性水準を維持している。

流動性に関しては、流動比率500.3%(前期比23.6ポイント上昇)、当座比率485.1%(同17.8ポイント上昇)と引き続き高い水準を維持していることに加え、現預金残高においては2,068百万円と月商の7.9か月分を有している点を考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。総じて、高い支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と史料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比106.3%となり、4期連続での増収推移となった。これは、主力サービスである与信管理サービス事業における売上高が107.9%の増収推移となったほか、BPOサービス事業で104.9%、「教育関連事業」等を含むその他サービスで120.1%とそれぞれ増収推移となったことが要因である。本業を中心に概ね堅調に推移しており、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

利益面においては、連結決算の粗利率は前年度55.5%から54.9%に低下したものの、販売費及び一般管理費が微増に留まったことで、売上高営業利益率16.1%(0.6ポイント上昇)、売上高経常利益率17.4%(1.6ポイント上昇)、売上高当期純利益率9.7%(0.2ポイント上昇)と各利益段階において前期を超える利益率を確保し、増益基調での推移を続けている。

収益効率は非常に高い水準にあり、ストック型ビジネスであることから安定収入が見込まれるため、今後も引き続き利益確保に懸念は少ないものと考えられる。

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定（2016年～2020年）

〔 キーワード 〕

一人前の会社になる

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画(2016年～2018年度)」

「第6次 中期経営計画(2019年～2020年度)」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 500百万円の利益を安定して創出、ROE 7%以上 を目指す

基本方針：『第5次中期経営計画(2016年～2018年度)』を継承

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

③ 資本業務提携

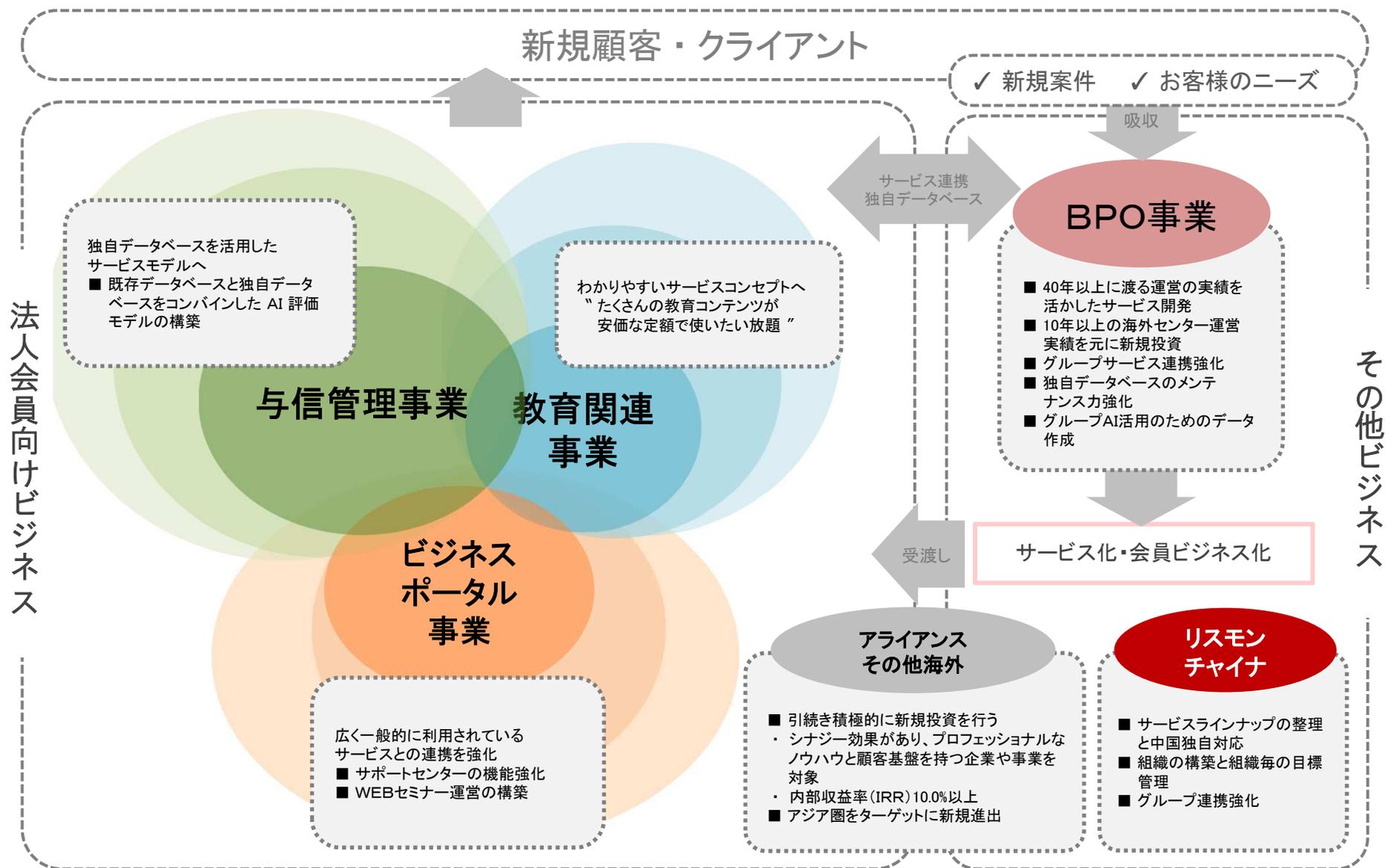
当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

④ 株主還元

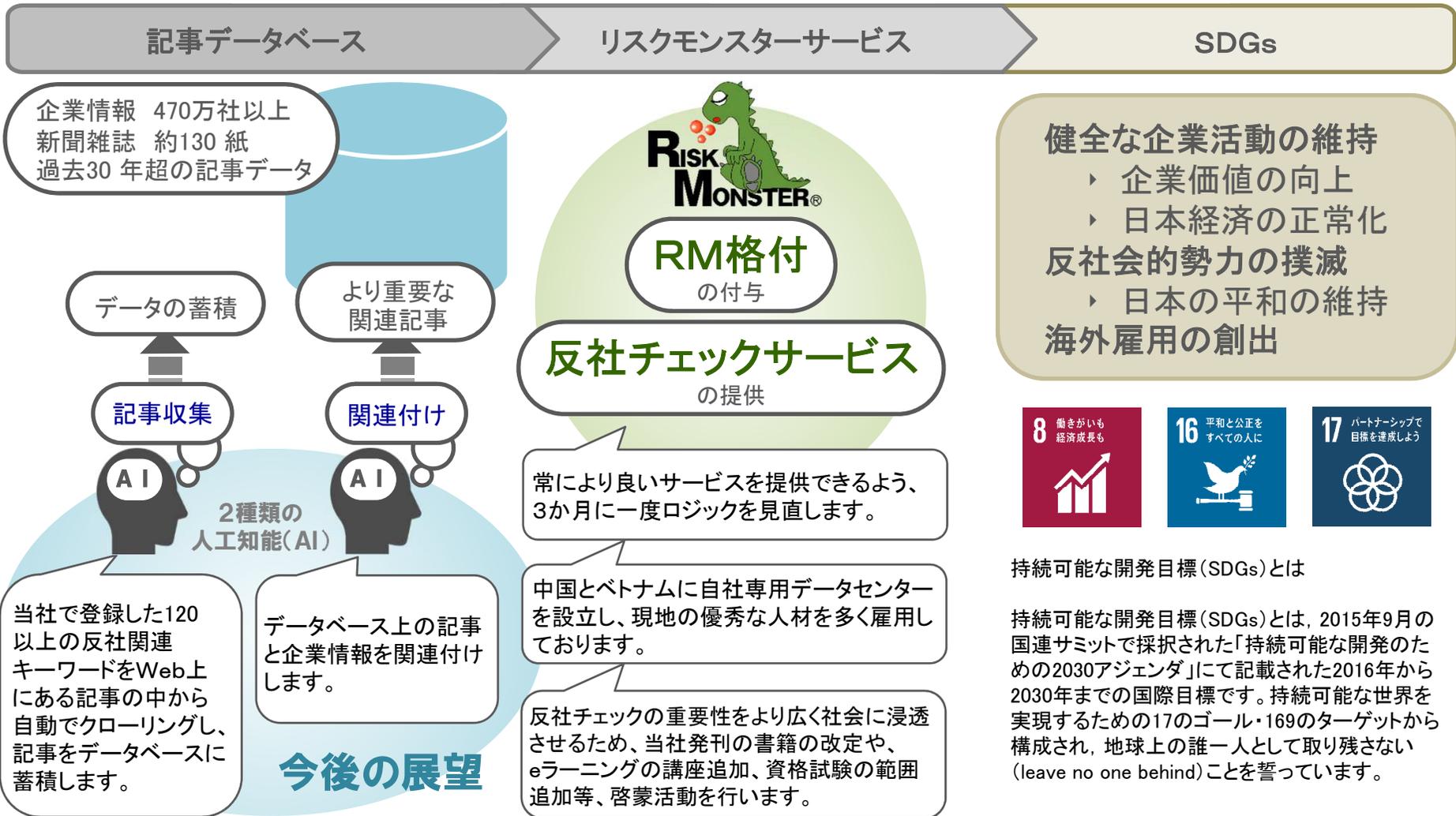
配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるため、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。

リスクモンスターグループのビジネスモデルと各事業別の基本方針



当社は、与信管理や反社チェック業務の内、手間のかかる情報収集や分析を請け負うことで、お客様の工数削減と精度の向上をサポートしております。2019年1月より、反社チェックサービスの拡充かつ精度を向上させるため、人工知能(AI)を活用したロジックを組んでおり、より質の高いサービスをお客様に提供できるよう取り組んでおります。サービスを通じ、健全な企業活動の維持や、社内のコンプライアンス意識及び外部から見た企業価値の向上、さらには日本内外の経済の維持と更なる発展に貢献いたします。



今後の展望

自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実施することで、資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

当連結会計年度に取得した自己株式

- ◆ 取得した株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 取得した株式の総数 : 178,939 株
- ◆ 株式の取得価額の総額 : 246,362,150 円

自己株式の消却

将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、自己株式を消却いたしました。

当連結会計年度に消却した自己株式

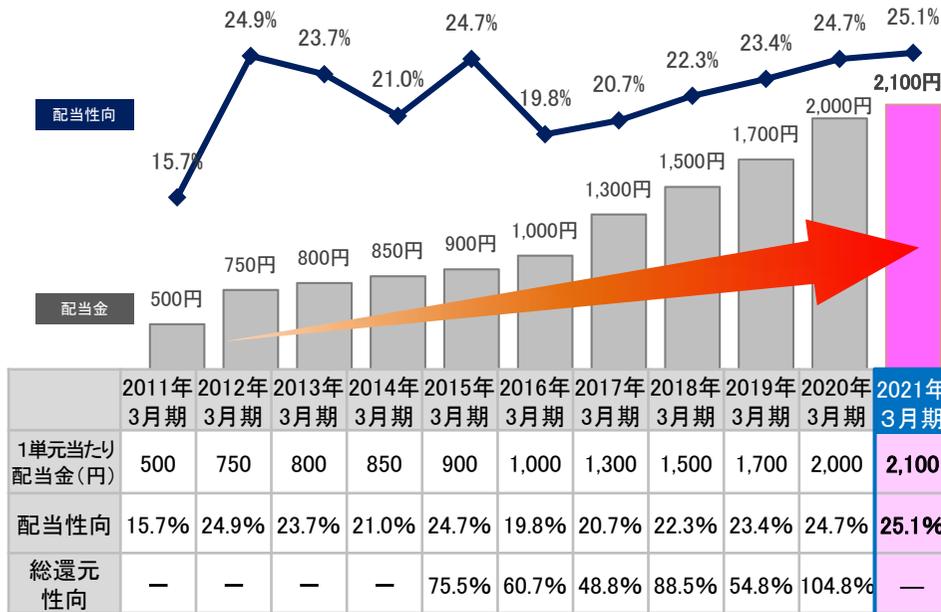
- ◆ 消却した株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 消却した株式の総数 : 150,039 株

2020年3月31日時点の自己株式の保有状況

- ◆ 発行済株式総数 : 3,773,461 株
- ◆ 自己株式数 : 66,900 株

株主還元

- ◆ 当連結会計年度は、1単元当たり2,000円(1株当たり20.0円)の増配予定です。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指します。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標としておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるために、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。
- ◆ 2021年3月期は、1単元当たり2,100円(1株当たり21.0円)の増配予想です。



(注) 1単元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、**6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象**にお好きな商品または寄付を1点お選びいただき、株主優待を実施いたします。

また、より多くの皆様に長期間保有していただくため、株主優待制度を拡充いたしました。本年度の株主優待から実施いたします。



保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
所有株式数				
300株以上	当社指定商品	1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
500株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
1,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

新設

第20回 定時株主総会

2020年6月25日に第20回定時株主総会を開催いたします。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、株主総会の様子をWEB配信いたします。

当日のご来場は、出来る限りお控えいただきますようお願い申し上げます。

※ ご質問等は、事前にお預かりし、当日に可能な範囲で説明させていただきます。

※ 例年株主総会後に実施しておりました「事業説明会」は、リスモンちゃんねるIR動画にて配信いたします。

※ ご来場を希望される場合、事前登録が必要となります。

※ 例年お渡ししていたリスモンオリジナルグッズのお土産は、今年は中止とさせていただきます。

リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる

「リスモンちゃんねる」で当社のIR動画を配信しております。

また、「信用」をテーマにインタビューする「人生の達人に聞く」シリーズ、人からの信用を調査する「Theレンタル」のPR動画も配信しております。



IR動画



< リスモンちゃんねる 2020夏 撮影の様子 >

PR動画



< 人生の達人に聞く シリーズ >



< Theレンタル >

お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352
FAX : 03-6214-0431
Mail : ir@riskmonster.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5
RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
<https://www.j-motto.co.jp>
リスモン・マッスル・データ株式会社
日本アウトソース株式会社
<https://www.outsource.co.jp>
サイバックス株式会社
<https://www.cybaxuniv.jp>
利墨(上海)商務信息咨询有限公司
<https://www.rismon.com.cn>

■ 倒産リスクを判別する格付ロジックを改定

与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、倒産分析を強化するため、リスモン独自の与信指標である「RM格付」の格付ロジックを改定いたしました。

2019年6月の改定では、2019年4月に公表しました、テクマトリックス株式会社と共同で実施したRM格付精度向上のための実証実験を基に、定性項目の評価に人工知能(AI)を導入し、多面的な分析を行うことで、定性項目の強化を行いました。

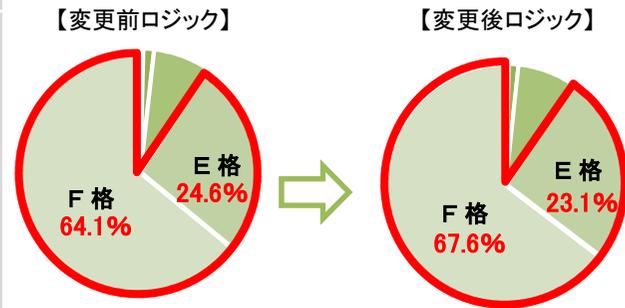
■ 改定ポイント(2019年6月度)

<p>倒産確率の適時化 経済環境や景気動向の変化により、倒産のトレンドは常に変化しております。倒産トレンドの変化に対応するために、定期的に倒産実績の集計を行い、RM格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っております。</p>	
<p>定量・定性分析の強化 多種多様な企業データを掛け合わせ、多面的に生存企業分析、倒産企業分析を行うに当たり、特に定性項目の評価において人工知能(AI)技術の導入により、倒産判別の向上が見込まれることから、定量・定性評価ロジックを改定し、格付精度の向上を図っております。</p>	<p>定量性分析の強化 成長性分析の観点において分析の強化を行った結果、評価基準や異常値の判定基準の調整によって、倒産判別の向上が見込まれることから、定量評価ロジックを改定し、RM格付の精度向上を図っております。</p>
<p>業種・地域別分析の強化 主に定性分析において、業種・地域ごとの倒産動向を捉え(倒産確率が高まっている業種など)、分析を強化し、格付精度の向上を図っております。</p>	<p>ディスクロージャー分析の強化 企業情報の開示姿勢について、特に決算情報の最新性に着目し、分析の強化を行った結果、倒産判別の向上が見込まれることから、ディスクロージャー評価項目を改定し、RM格付の精度向上を図っております。</p>

■ 改定ポイント(2019年12月度)

■ RM格付の倒産判別力 (2019年12月時点)

全倒産に占める低格付先の割合は、E・F格を合わせた警戒領域で、2.0ポイント(88.7%→90.7%)の上昇を見込んでおります。



2.0ポイント改善

■ 大学向け Web 学習システム『ビジネス実務与信管理学習ツール』

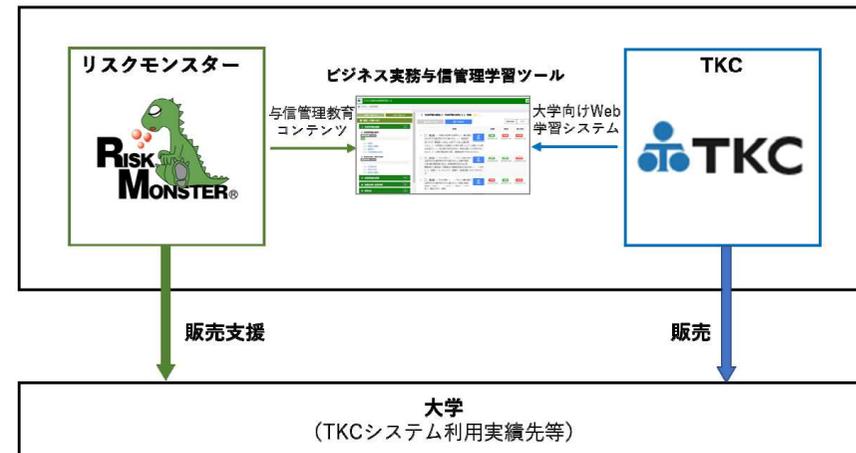
2019年7月26日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社と、「TKC 法科大学院教育研究支援システム」や「公務員試験学習ツール」等で士業や公務員試験等の Web 学習サービスで高い実績を有する株式会社TKC は、それぞれのノウハウを集結し、Web 学習システム「ビジネス実務与信管理学習ツール」を共同開発しました。

■ 概要

与信管理は、学生が社会に出てビジネスに携わる際には、必要な知識であり、事前に学習の機会を得ることは大変有用です。しかし与信管理は、企業経営や財務会計、法務など多分野にわたっているため、体系立てて学習できる機会が非常に乏しい状態にあります。

本システムによって、学生は与信管理の実務に必要な基礎知識を体系立てて学ぶことができるようになり、さらに、本システムの内容は、リスクモンスターが協賛する与信管理実務の技能検定の一つである「ビジネス実務与信管理検定試験3級および2級」の試験範囲をカバーしているため、試験学習としても有効な内容となっています。

学生にとっては、就職活動に向けて与信管理のビジネス実務知識を身につけておくことで、他の学生と差別化できるアピールポイントになります。



■ 会員企業様でシステム開発することにより、直接RM格付を取得可能

2019年11月7日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、RM格付のAPIサービスの提供を開始いたしました。リスクモンスターから会員企業様にAPI仕様書とIDを提供し、会員企業様でシステム開発していただくことで、自社のシステムからリアルタイムにRM企業データベース(※)を検索し、直接RM格付を取得、取り込みができるサービスです。

(※)国税庁が提供する法人番号情報を中心とした公知情報等から、リスクモンスターが独自に収集した日本最大級となる約470万社の企業情報データベースです。

■ サービスの内容

本サービスで取得できるRM企業データ

RM格付:倒産実績に裏付けられたA~Fの6段階の最新格付。
企業基礎情報:「法人番号」、「商号」、「郵便番号」、「所在地」、「電話番号」、「代表者名」などの企業基礎情報。

会員企業様のシステムとRM企業データベースを直結

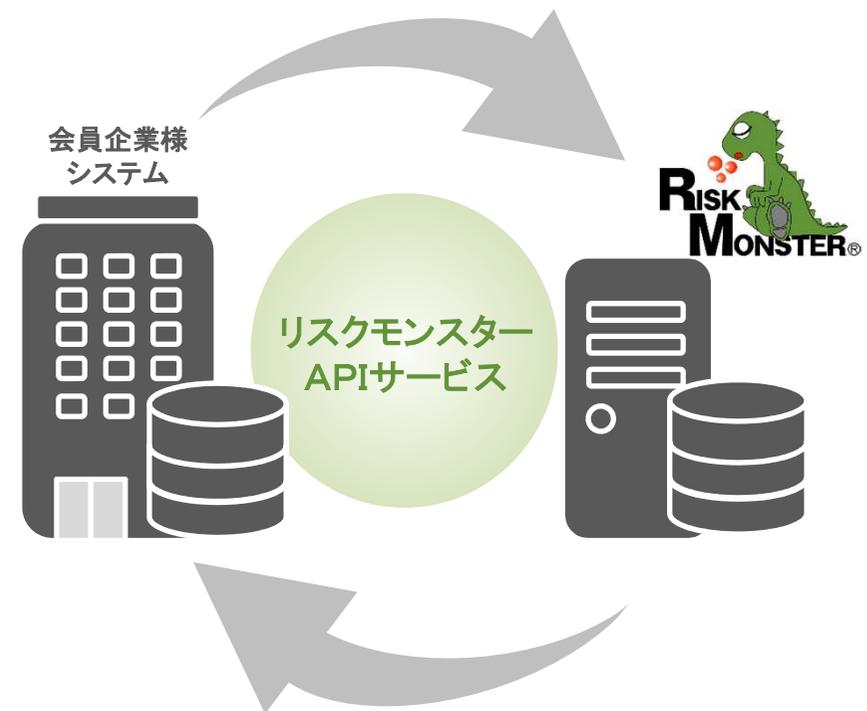
システム連携により、会員企業様のシステムから直接、RM企業データベースを検索してデータを取得し、システムに取り込むことができます。会員企業様のシステムとRM企業データベースを直接接続することで、会員企業様は手間をかけずに、システム内のRM格付を最新に保つことができます。

日本最大級の収録件数

リスクモンスターが独自に収集した約470万社のデータベースにアクセスすることができ、企業規模を問わず、即時にRM格付および企業基礎情報を取得することができます。

■ イメージ図

① 企業情報検索・取得要求



② 検索結果・企業情報通信

■ すべてのe-管理ファイルモニタリング登録企業の倒産が支払いの対象に

■ 与信先のモニタリングサービスにお見舞金を自動付帯

2019年11月12日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、取引先のモニタリングサービス「e-管理ファイル」において、6か月以上モニタリング登録を継続している企業が法的倒産となった場合、債権の有無にかかわらずお見舞金をお支払いする「お見舞金制度」を開始いたしました。本サービスは、債権を保証するものではなく、RM格付が信頼性の高い評価指標であることの証として、追加料金は不要でお見舞金をお支払いするものです。

■ 『リスクモンスターお見舞金』の概要

特長	業界初！ 倒産時にリスモンが見舞金をお支払い
申込方法	不要
保証額	A格 500,000円 B格 300,000円 C格 100,000円 D格 50,000円 ※E格、F格、G格は対象外です。 ※最低モニタリング登録期間6ヶ月です。
掛金	無料

■ 与信先モニタリングサービスで低格付企業に共済金

2019年12月12日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、取引先のモニタリングサービス「e-管理ファイル」において、2か月以上モニタリング登録を継続している企業のうち、RM格付E格、F格企業が法的倒産となった場合、共済金をお支払いする「リスクモンスター見舞金共済」を開始いたしました。本サービスは、「お見舞金」にて支払い対象外となる低格付登録企業の倒産に対して「共済金」をお支払いするサービスです。

■ 『リスクモンスター見舞金共済』の概要

特長	業界初！ 与信管理費用の共済制度
申込方法	事前必要
保証額	E1格 300,000円 E2格 300,000円 F1格 300,000円 F2格 300,000円 F3格 300,000円 ※A格、B格、C格、D格、G格は対象外です。 ※最低モニタリング登録期間2ヶ月です。
掛金	月額100円/1件 ※100件まで10,000円

■ リスクモンスタースタグループ 大阪支社 事務所移転

当社大阪支社は、業務拡大に伴い事務所を移転し、2019年5月7日(火)より営業を開始いたしました。これを機に社員一同一層業務に邁進してまいります。

(新住所)

〒541-0053

大阪市中央区本町二丁目6番8号

センバ・セントラルビル四階

リスクモンスター株式会社 大阪支社

(電話番号) 06-7223-8863

(FAX番号) 06-7223-8870



(エントランス)



(会議室スペース)